

通し番号	5230
------	------

分類番号	R06-61-21-07
------	--------------

養豚経営に関するアンケート結果を階層クラスター解析することで、生産者の生産成績と経営志向を客観的に評価できます	
[要約] 県内養豚生産者を対象に生産規模、肉豚成績、繁殖成績及び経営志向に関してアンケート調査を行い、直近の収入と繁殖母豚で重視する点、繁殖成績向上の取組み等を階層クラスター解析することにより、これらの関連性を明確することができる。	
神奈川県畜産技術センター・企画指導部・企画研究課	連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

経営状態を客観的に評価することができる、生産者間で共通利用が可能なベンチマーキングによる経営評価システムについて検討する。

[成果の内容・特徴]

- 1 繁殖母豚で重視する点は、全体では繁殖成績、肉質、強健性の順に多く、直近の収入との階層クラスター解析では「収入が増加している」と回答した者は、繁殖母豚で肥育成績、繁殖成績、多産性を重視している（図1）。
- 2 収益向上の取組みは、全体では良質豚肉生産による有利販売、優良種豚の確保、飼料要求率の向上の順に多く、直近の収入との階層クラスター解析から「収入が増加している」と回答した者は繁殖成績の向上を重視している（図2）。
- 3 以上の結果から、生産成績や経営志向についてのアンケート調査結果を階層クラスター解析することで、これらの関連性を明確にすることができる。

[成果の活用面・留意点]

- 1 神奈川県養豚協会会員 28 戸を対象に生産規模、肉豚成績、繁殖成績、及び経営志向に関してアンケート調査を行い、19 戸から回答を得た。

[具体的データ]

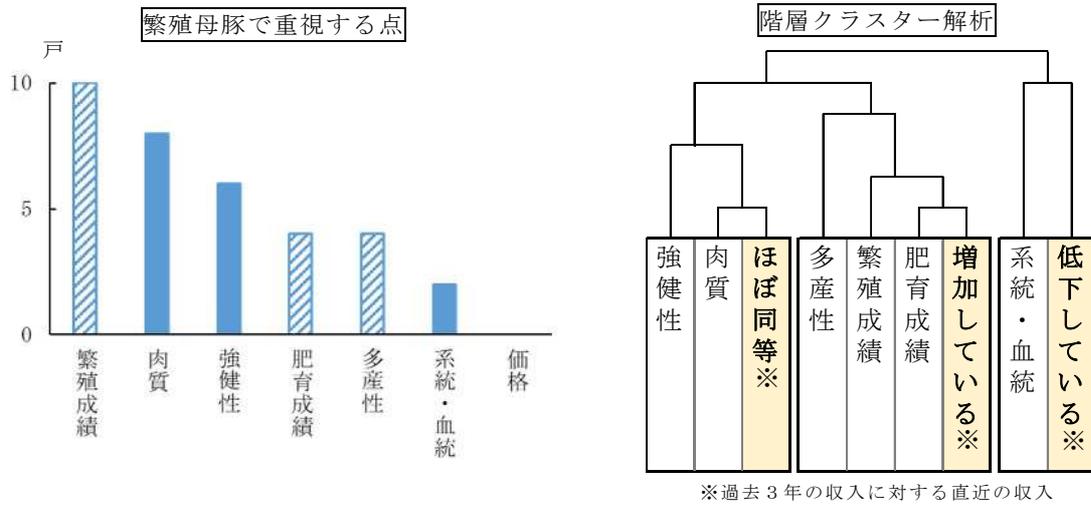


図1 直近の収入と繁殖母豚で重視する点の階層クラスター解析による類型化

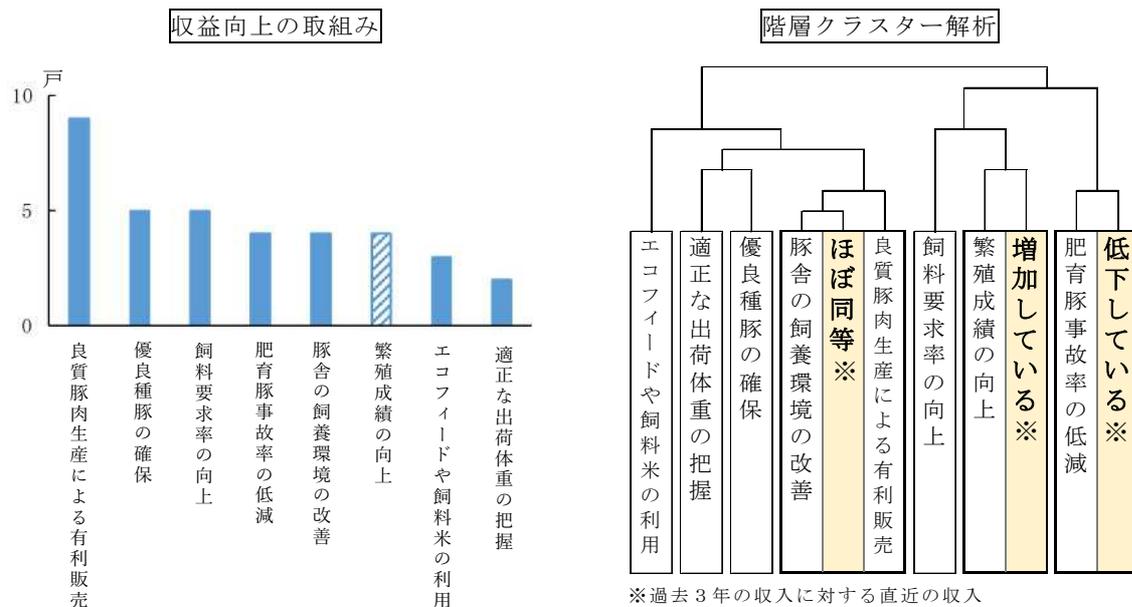


図2 直近の収入と収益向上の取組みの階層クラスター解析による類型化

- [資料名] 令和6年度試験研究成績書
- [研究課題名] ベンチマーキングによる畜産経営改善システムの確立
- [研究期間] 2024（令和6）年度
- [研究者担当名] 引地宏二
- [協力・分担関係] 普及指導課